



# ひくま幼稚園だより

平成28年5月31日  
第2号  
ひくま幼稚園  
園長 水野 明

ご感想を  
お寄せください



info@hikuma.ac.jp



照りつける日の光にくらくらとしてしまい、夏の訪れが近いことを感じます、なんて書いて園だよりの準備をしておりますと、数日後には寒くて上着を引っ張りだす羽目になったり…。まったくおかしな気候ですね。まったく寒暖の差で身体がまいってしまいます。発熱の風邪、呼吸器の風邪が流行るのも無理はないという感じでしょうか。外遊びが楽しい時期ではありますが、子どもたちの様子をよく見て、私たちも気を付けたいと思います。ご家庭でも健康管理にどうぞご留意ください。

## 家庭訪問

お忙しい中、家庭訪問のためにお時間を取っていただき、ありがとうございました。また一週間、午前保育ということで、ご迷惑をおかけいたしました。申し訳ございませんでした。また予定しておりました時間に遅れてしまったお宅もあったのではないかと思います。重ねてお詫び申し上げます。皆様にご負担をおかけする行事でございますが、その分、この訪問を機会にお子さんたちと教員の距離がぐっと近くなるのも確かなこととございまして、その成果が日常保育の中に少しずつ出てくることと思っております。また保護者の皆様にも担任を身近に感じていただければと思っております。そしてまた訪問時だけでなくお気付きのことがございましたら、ご家庭での様子などぜひぜひお伝えいただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

## 入園説明会参加者募集中

6月11日に入園説明会を企画いたしております。昨年度までは体験入園ということで、親子でお出かけいただき、遊んでいただく時間を多く持ちましたが、今年はもう少し、保護者の皆様に説明させていただく時間を増やすことといたしました。というわけで、もうすでに上のお子さんにひくま幼稚園においていただいている場合には、あまりお出かけいただいても改めてご説明させていただく必要もないかと思っております。もちろん、説明のときにはお子さんを先生たちがお預かりいたしますので、参加してみたいということであれば、もちろんお出かけください。歓迎いたします。またご近所で入園を控えたお子さんがいらっしゃる場合には、どうぞお声をかけていただければと思っております。よろしく願いいたします。

## 就職説明会

一昨年、園長研修会において講師の先生が、「今後、園児数減少でつぶれる幼稚園・保育園はおそらくないと思いますが、保育者不足でつぶれる園はどんどん出てくるでしょう」とおっしゃっていましたが、本当にそれが現実になりつつあります。浜松市私立幼稚園協会の各幼稚園・こども園で、今年の4月、新年度がスタートしたにもかかわらず、30名ほどの教員が不足いたしております。少子化が学生にも及び、保育科の学生の絶対数が足りないところに持ってきて、「保育園落ちた、日本死ね」にも代表される世論に後押しされるように保育園が増やされ、幼稚園、保育園、こども園で、先生の奪い合いが行われています。

そんな中、浜松市は公立幼稚園・保育園の先生の採用試験を3か月も前倒しすることを決めようとしていました。3か月早くするという事は、試験を6月に行うということです。ということは多くの学生が、教育実習真っ最中か、終わった直後ということで、やっと実習が終わり、果たして自分に先生としての適性があるかどうかを、冷静に見つめなくてはならない時期にということです。そんなときに採用審査をしていいものなのかどうか、私たちは教育者としての立場からも幼稚園協会としてこれに反対し、なんとか浜松市に聞き入れていただきました。大手の保育園はさらにひどく、もう就職する学年の前の年（短大なら一年生、四大なら三年生）に、内定を出そうとしています。もうめっちゃくちゃですね。子どもの前に立ったことすらない学生が、先生として採用されようとしているのです。確かに理想ばかり言っているわけにはいかないかもしれませんが、でも今は資格があって、なろうと思えば、誰でも保育者になれる時代です。だからこそ、しっかりと覚悟を持って、内定を受けてもらいたいものだと思います。

そんな状況の中、5月の連休明けに、浜松市私立幼稚園協会主催の就職説明会が行われました。いかに私立幼稚園が魅力的な職場であるかということをお子さんの皆さんに説明する会であり、特に最初にあいさつをし、続けて私立幼稚園の魅力、やり甲斐を話すよう申し付けられた私としては責任重大で、当日は朝の3時に目が覚めてしまい、緊張して当日を迎えることとなりました。また今年は、政令指定都市幼稚園協会のご好意で、福岡市の幼稚園協会が作成した幼稚園の先生の紹介DVDを会場に流しました。これが好評で、学生の皆さんの意識は結構幼稚園にも向けられたのではないかなと思えました。

全体会の後には各園ごとのブース説明が行われ、ひくま幼稚園からは佳代先生と古谷先生に出席してもらい、ひくま幼稚園の魅力も学生の皆さんに伝えてくれるようお願いしました。私は邪魔にならないように少し離れたところから、ひくま幼稚園のブースをじっと見守る、という感じで、二人の先生にお任せしっぱなしでしたが、ひっきりなしに学生が寄って話を聞いてくれていたので、本当に安心いたしました。園長の中には、学生が自園のブースに集まらないことを苦にして、「もう来年からはうちは参加しないわ」と言い放つ人もいました。気持ちもわかりますけど、そりゃ努力が足りないんじゃないですか、という感じ。その点、佳代先生、古谷先生、本当にどうもありがとうございました。さて、この結果が浜松市私立幼稚園協会の採用活動にどうつながるか。心配でもあり、楽しみでもあります。

## 熊本地震の義援金

多くの方に浄財をお寄せいただき、ありがとうございました。お蔭様で熊本の地震に対するひくま幼稚園の寄附金は、110,000円、集まりました。どうもありがとうございました。

寄附金のお願いは、静岡県私立幼稚園振興協会と、政令指定都市私立幼稚園団体協議会から依頼がありまして、静岡県私立幼稚園振興協会からの依頼が早かったため、多くの市内私立幼稚園が静岡県私立幼稚園振興協会に送ったようでした。そこでひくま幼稚園からの寄付金は、政令指定都市私立幼稚園団体協議会に送らせていただくことといたします。一度、浜松市私立幼稚園協会に提出し、他の数園の分と合わせて、政令指定都市私立幼稚園団体協議会に送ります。また送らせていただいた後にご報告いたします。ご協力いただきました皆様、ほんとうにどうもありがとうございました。お礼申し上げますとともに、ご報告いたします。